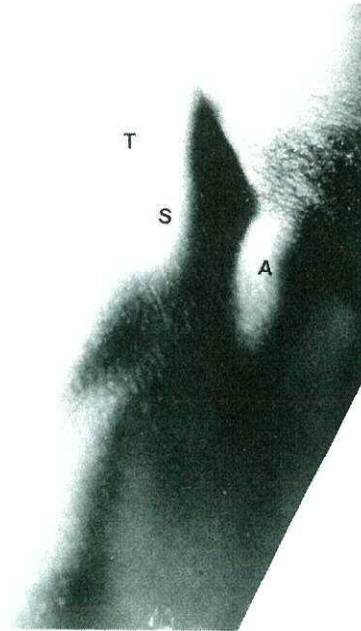


4-21A 大腿三角の境界



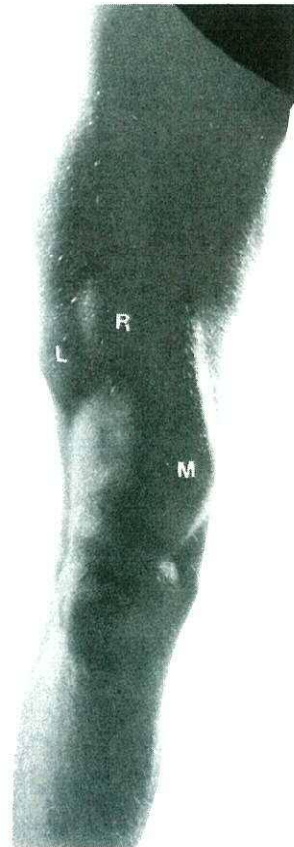
4-21B 大腿三角

注意事項:

1. 縫工筋 (S) と長内転筋 (A) との間の陥凹。
2. 縫工筋と大腿筋膜張筋 (T) との間の深い溝。



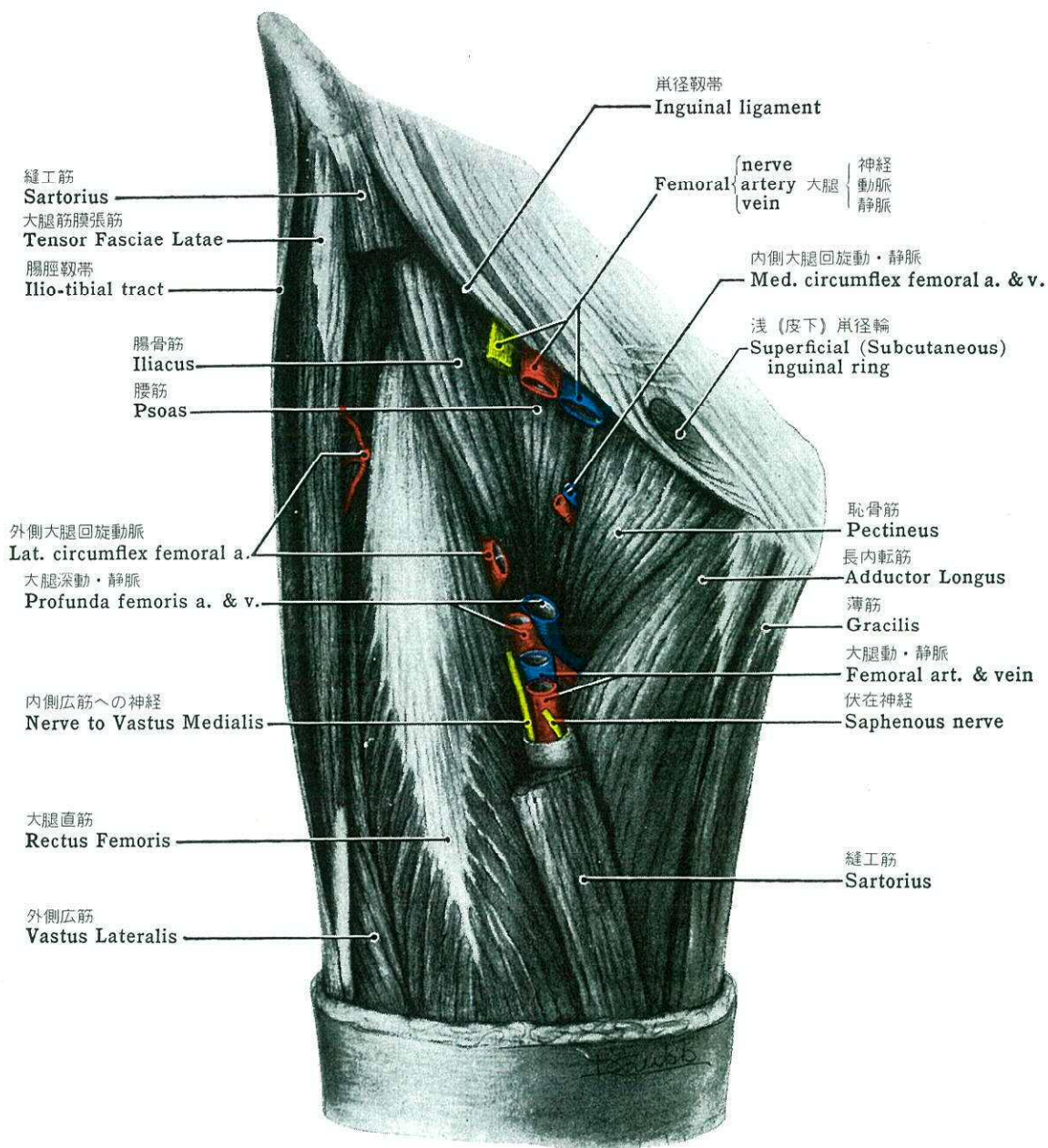
4-21C 縫工筋



4-21D 大腿前面の筋

身体で最も長い筋で、起始は上前腸骨棘、停止は脛骨と側面にあり (図 4-65A を参照)、殿部の他の屈筋と同様に大腿神経で支配される。

内側広筋 (M)、外側広筋 (L) および大腿直筋 (R) はいずれも (中間広筋とともに) 膝蓋骨に付着してから膝蓋靭帯を介して脛骨粗面に停止する。もちろん、これらの筋はすべて大腿神経で支配される。



4-22 大腿三角の床

縫工筋，大腿動・静脈・神経が切除されている。

観察事項：

1. 大腿三角の床は外側および内側壁が傾斜した舟底形をしている。内側壁に恥骨筋とともに長内転筋も含まれるとすれば，さらにこの形は顕著になる。腸腰筋（大腿直筋の内側縁）と縫工筋が外側壁を形成する。
2. 舟底形は三角の底辺で浅く，尖端で深い。
3. 尖端部では4本の血管が互いに前後に一系列にならび，2本の神経はHunterの内転筋管（縫工筋下管）を通る。

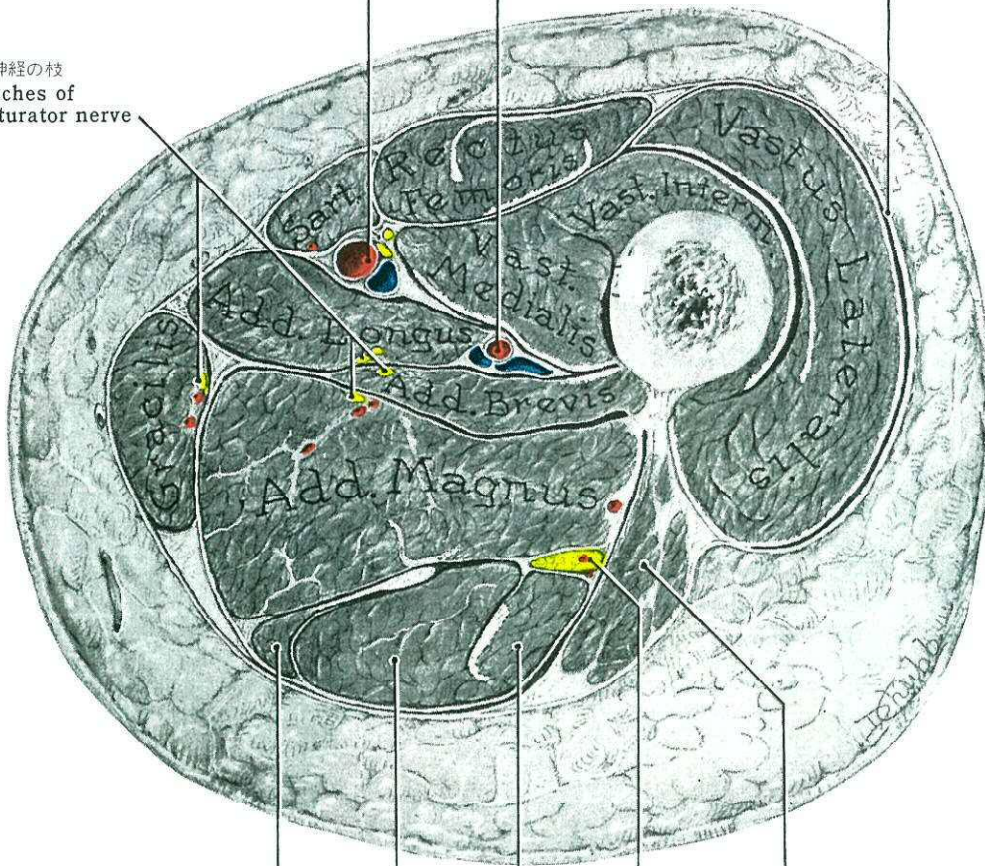
大腿動脈—内側広筋への神経
 大腿静脈—伏在神経

Femoral art.—N. to Vastus Med.
 Femoral vein—Saphenous nerve

大腿深動・静脈
 Profunda femoris art. & veins

月骨と距骨
 Ilio-tibial tract

閉鎖神経の枝
 Branches of obturator nerve



Add. Brevis : 短内転筋
 Add. Longus : 長内転筋
 Add. Magnus : 大内転筋
 Gracilis : 薄筋
 Rectus Femoris : 大腿直筋
 Sart. : 縫工筋
 Vast. Intern. : 中間広筋
 Vast. Lateralis : 外側広筋
 Vast. Medialis : 内側広筋

Semimembranosus
 半膜様筋

Semitendinosus
 半腱様筋

Biceps femoris, long head
 大腿二頭筋の長頭

Sciatic nerve
 坐骨神経

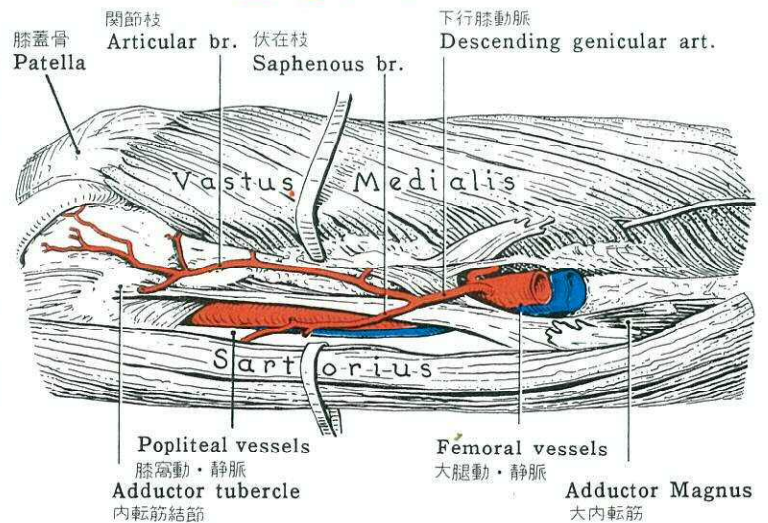
Gluteus Maximus
 大殿筋

右 足 (左 足)
 左 CT 足

4-26 大腿の横断面, 女性

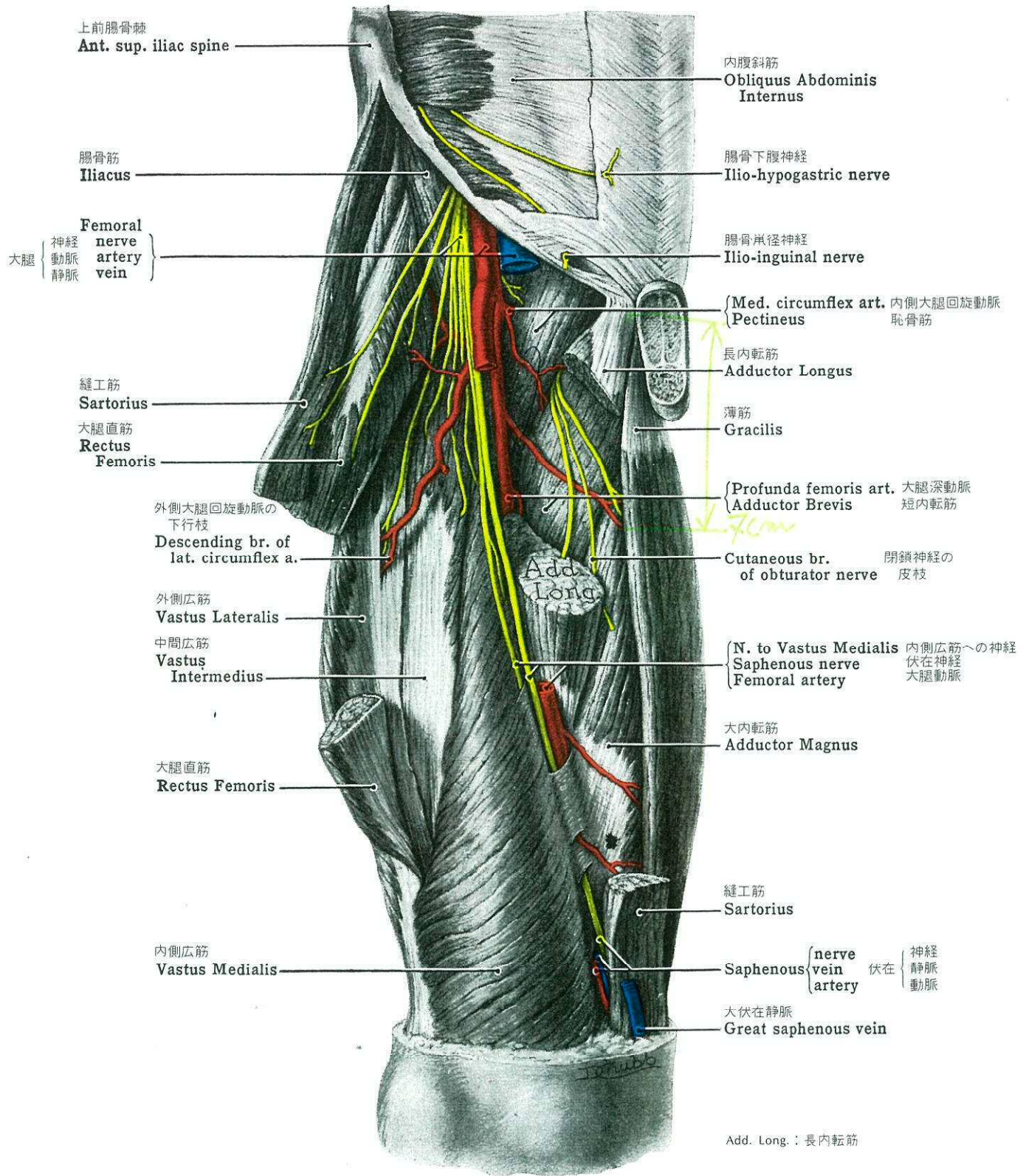
観察事項:

1. 横断面の高さ: (a) 大殿筋の停止の高さである。したがって大腿二頭筋短頭の起始よりも上, (b) 恥骨筋の停止の下で長内転筋の停止の上であるから短内転筋の停止の高さ, (c) 内転筋管の高さ, すなわち, 大腿三角の尖端より下で大腿骨を10~15cm 下った高さである。
2. 薄筋: 内転筋群の内側で遊離縁に接する。
3. 長内転筋: 大腿動・静脈と大腿深動・静脈の間にある。
4. 短内転筋: 閉鎖神経の前枝と後枝の間に位置する (訳注: 図 4-5 を参照)。
5. 半膜様筋の腱膜: 見かけ上, 坐骨神経と類似しているため間違いやすい。
6. 中間広筋: 大腿骨幹の前面および外側面から起こる。内側広筋: 大腿骨の内側を覆っているが, そこが起始ではない。中間広筋だけが大腿骨幹面から起こり, 他の筋は粗線, あるいはその上方または下方の延長線上から起こる。近位では外側広筋が大きい。
7. 女性では, かなりの量の皮下脂肪が認められる。



4-27 膝窩動脈の起始部

大腿動脈は大内転筋の(腱状の)開口部(内転筋腱裂孔)で膝窩動脈となる。



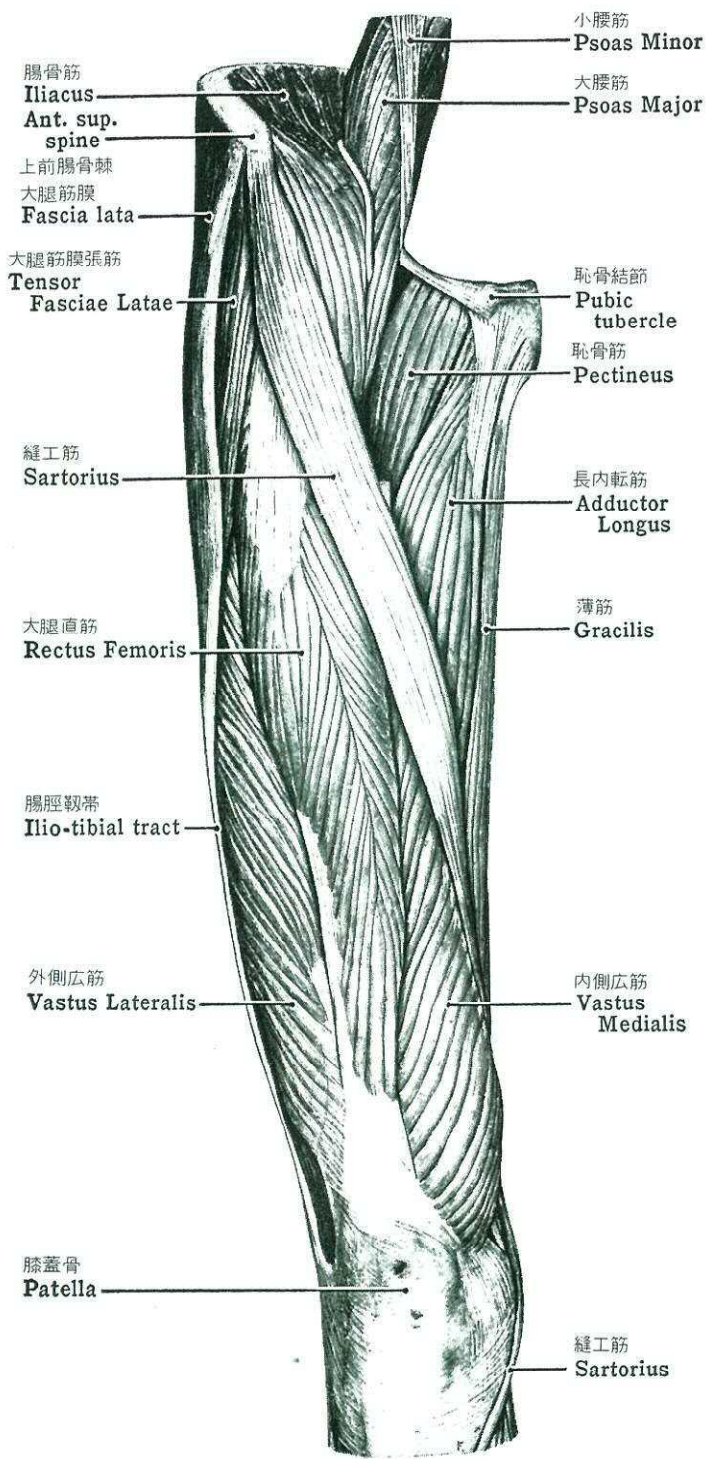
4-25 大腿前面と内転筋群の解剖

(下腿を外旋してある)

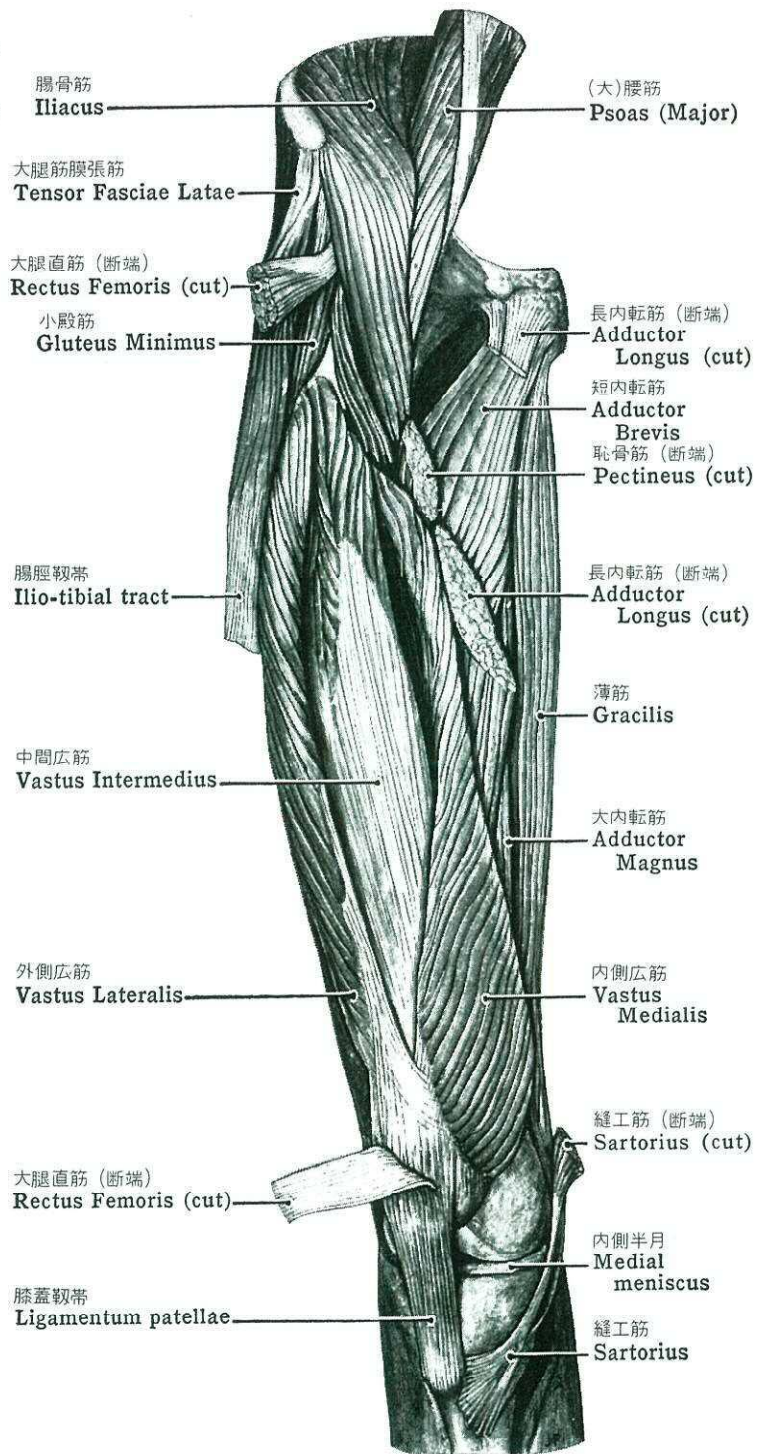
観察事項:

1. 大腿神経; 大腿進入部で3方向に分かれる。
2. 大腿動脈; 二つの運動神経支配域の間, すなわち内側の閉鎖神経域と外側の大腿神経域の間を走る。大腿動脈の前を横切る運動神経はないが, 恥骨筋枝は大腿動脈の後ろを横切る。

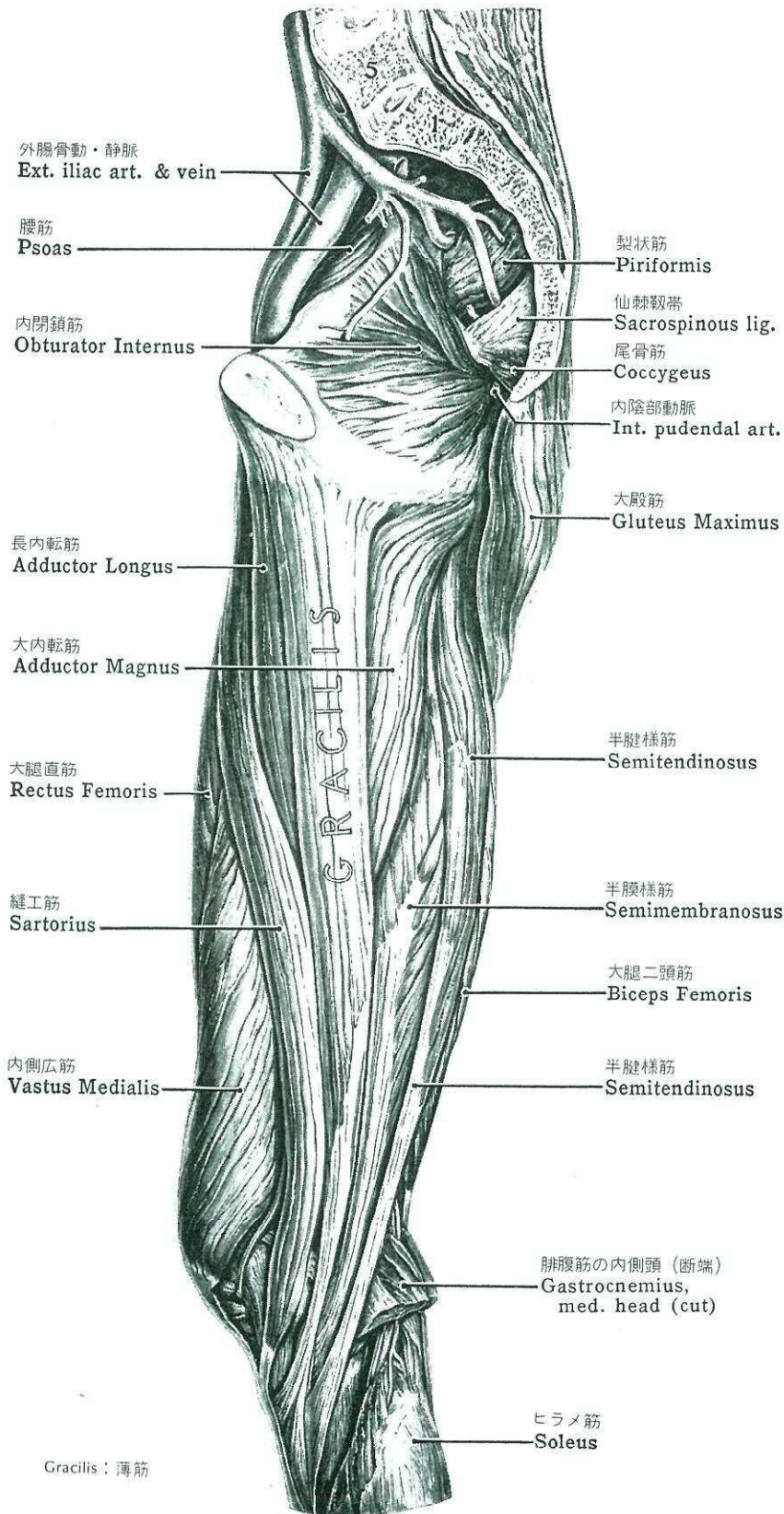
3. 内側広筋への神経と伏在神経は大腿動脈に伴行して内転筋管に入る。伏在神経, 動脈およびそれらに伴行する吻合静脈は内転筋管の下端から現われる。それらは縫工筋と薄筋との間から皮下に出る。
4. 大腿深動脈; 単径靭帯の約4cm下で始まり, 大腿動脈の後ろに位置し, 長内転筋の後ろに消える。



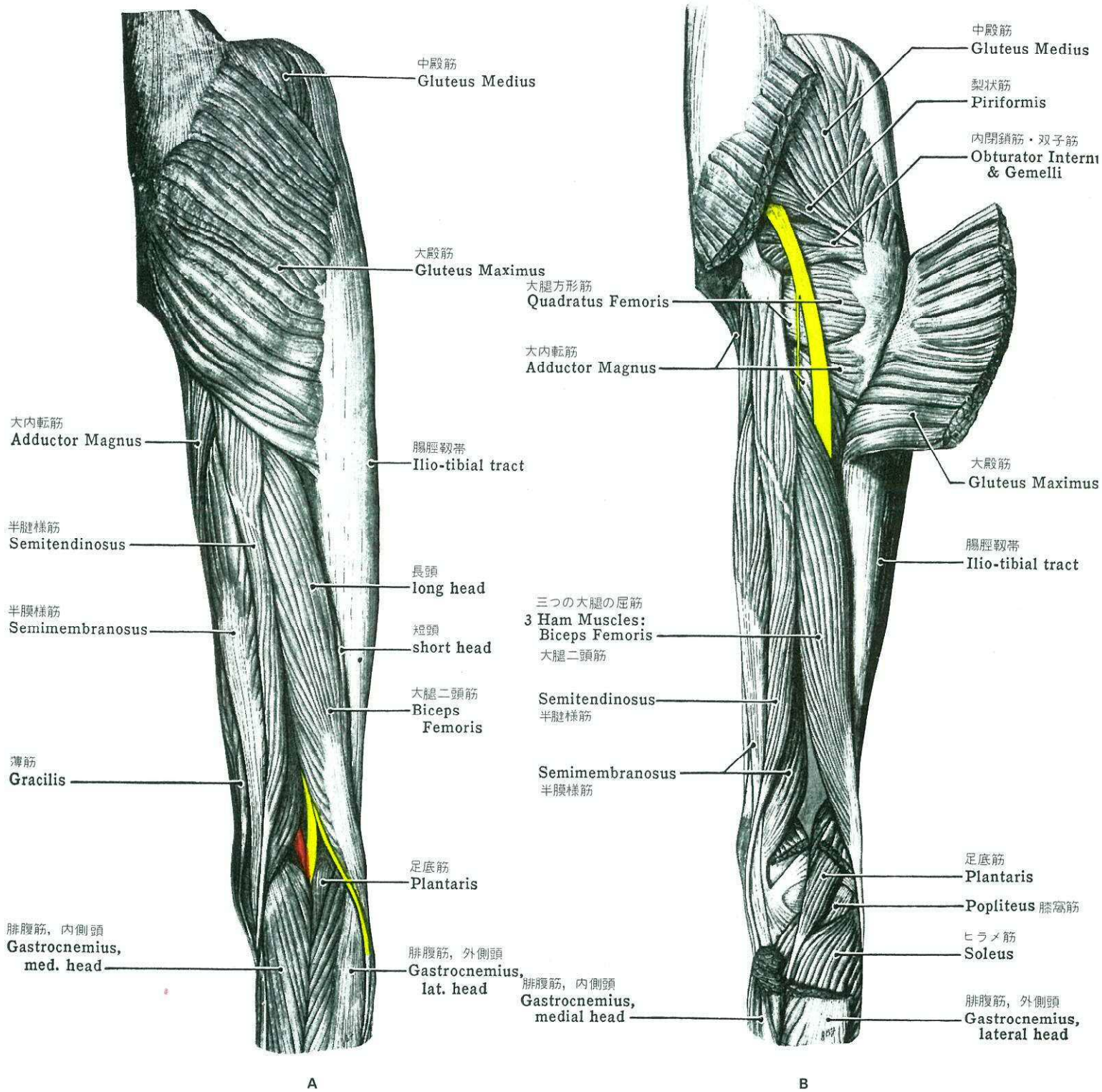
4-28A 大腿前面の筋群 (I)



4-28B 大腿前面の筋群 (II)



4-30 大腿内側の筋群



4-31 殿部および大腿後面の筋群